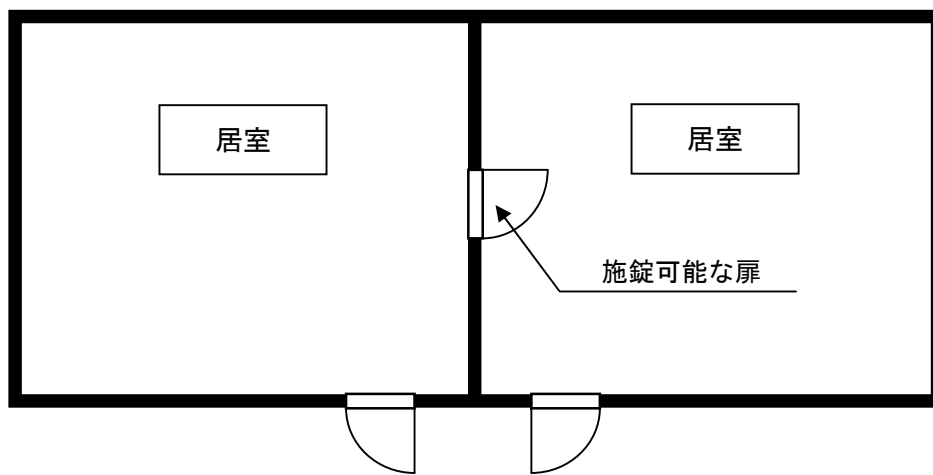

多世帯同居住宅の用途の取扱いについて

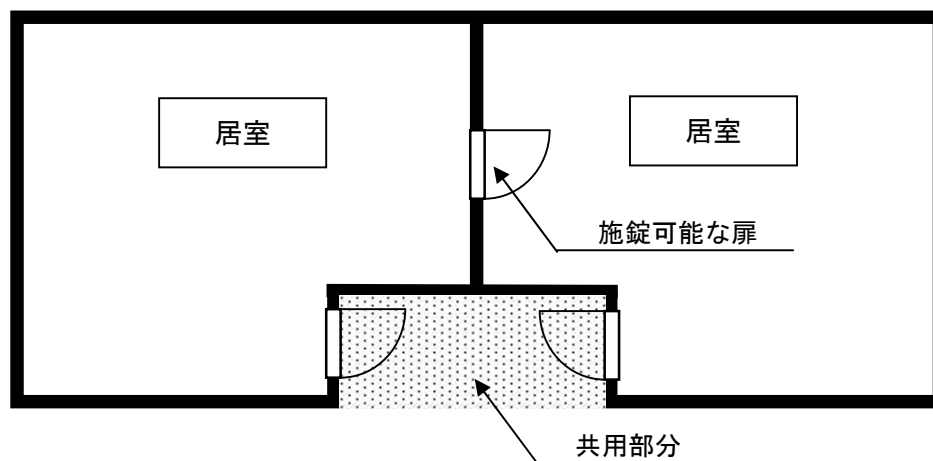
多世帯同居住宅で、各世帯が独立して使用する部分を相互に行き来する扉が施錠可能な場合は、長屋又は共同住宅として取扱う。

多世帯同居住宅で、相互に行き来する扉を施錠した状態は、独立して生活を営むことが可能なため、一戸建ての住宅とは取扱わない。

1. 長屋として取り扱うもの



2. 共同住宅として取り扱うもの



法令、関連資料

法令 法第2条第二号

資料 建築確認のための基準総則集団規定の適用事例 2013年版 P27